

商業科（ビジネス基礎）学習指導案

月日	6月22日（水）
時限	3時限

情報処理科	1年6組	1年6組教室	指導者	糸賀 信博	
単元	第2章 経済生活とビジネス ③ ビジネスの発展 1 国際化とビジネス		教科書	ビジネス基礎	
			発行所	実教出版	
単元目標	1. ビジネスの発展の要因を理解させ、環境等の新たな問題を意識させる。【知識・理解】 2. 国際化・情報化などの進展で、新たに発生する問題やトラブルに対する対応策や望ましい倫理観について考えさせる。【思考・判断・表現】 3. 環境や動力を意識して生活できる様に自身の生活を見直させる。【思考・判断・表現】				
指導計画	③ ビジネスの発展 1 国際化とビジネス（本時）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間 2 情報化とビジネス 3 サービス経済化とビジネス・・・・・・・・ 1時間 4 科学技術の進展とビジネス 5 ビジネスの発展がもたらした課題・1時間				
本時目標	1. 日本企業の海外進出や、外国企業の日本進出の原因を考えさせる。【思考・判断・表現】 2. 外国人との望ましいコミュニケーション方法や、学ぶべき文化などについて考えさせる。【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 3. 国際化や各国の文化・習慣を理解させる。【知識・理解】				
準備資料	教科書 P 34～36 自作プリント 2枚				
指導内容	学習活動	学習形態	時間	指導上の留意点 (教師の支援)	
導入	発問 具体的な外資系企業の店舗名をあげ、共通点を各自考え、指名されたら発表する。	個別 全体	5分	海外から進出してきた企業が多いことを意識させる。 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】	
展開	企業の海外進出について 教科書・プリントを読む。国際化についての説明を聞き、プリントに重要事項を書き込む。 各国の文化・習慣の違い 外国人とのトラブルの事例を読み、原因を考えて簡単にまとめ、発表する。	全体 個別	35分	日本の有名企業が、生産拠点を海外に移している原因をいくつか考えさせ、まとめさせる。 外国人にとって宗教がどれだけ重要なものなのかを感じさせ、文化を学ぶことや心配りの大切さを理解させる。 【思考・判断・表現】 【知識・理解】	
まとめ	本時の確認 プリントの穴埋め問題を解きながら、学習内容を確認する。 感想 今後外国人の人と接する機会があった時に、どのようなことを意識していきたいかということや、感想などを記入する。	個別 全体	10分	本時の学習を通して、第1章で学習した“豊かな人間性”の大事さを再認識させる。 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【知識・理解】	
評価	1. 日本企業の海外進出や、外国企業の日本進出の原因を考えたか。【思考・判断・表現】 2. 外国人との望ましいコミュニケーションの方法や、学ぶべき文化などについて考えたか。【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 3. 国際化や各国の文化・習慣を理解したか。【知識・理解】				